

令和2年度北海道科学技術奨励賞受賞者功績概要

氏名	永井 利幸（42歳）
所属・職名	北海道大学大学院医学研究院・准教授
<p><功績名> 「心不全個別化医療の実現に向けた高精度予後予測モデルの構築に関する多分野融合研究」</p> <p><功績の内容> 近年、生活習慣の欧米化、高齢化に伴う虚血性心疾患、高血圧や弁膜症の増加などにより、心不全患者の急増が社会問題となっている。心不全は、さまざまな心疾患がたどる終末像であるが、どの治療薬の組み合わせが最適であるのか、そして、患者さんがあとどれくらい生きられるのかに関する予後予測は極めて困難である。このことから、心不全に対する治療は、一元的とならざるを得ず、時には苦痛を和らげる緩和治療が選択されるべき末期心不全患者にまで高額先進治療が行われることもある。結果、心不全患者に対する医療費は年々増大し、医療経済が圧迫されている。</p> <p>氏の研究グループは、国際共同研究を含む心不全患者の大規模多施設登録研究や医療ビッグデータ解析を行い、わが国特有の心不全診療実態の解明、および個別化医療の実現につながる心不全治療薬の効果的選択、予後に関わる新しい予測指標を数多く発見してきた。</p> <p>現在、本研究で得られた成果を、より精密な心不全個別化医療の実現のため、遺伝子解析などを含む多分野先端技術を融合した北海道発1万人規模の心不全大規模登録研究に発展させている。</p>	

注）年齢は令和2年（2020年）4月1日現在